

易出血傾向の患者の肝生検時に施行した穿刺経路塞栓の有用性についての報告

1. 研究の対象

2014年7月から2020年8月までに放射線科にて肝生検を受けられた方

2. 研究目的・方法

急性肝炎時や抗凝固薬を内服している患者に肝生検が必要となった場合、穿刺後の出血を予防することが重要となります。しかし、現時点では十分な成績と安全性が担保された確立した方法はありません。

当院当科にて行ってきた方法の詳細とその成績について研究する予定です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者さんに肝生検を行なったさいの診療録、検査データ、画像データを使用します。したがって、患者さんに新たなご負担をおかけすることはありません。

また、情報、画像は全て匿名化して研究に使用します。カルテ番号、生年月日、イニシャルなど個人を特定しうる情報は用いません。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2

電話：04-2995-1211（代表）

研究責任者：放射線医学講座 助教 須山陽介